



おおさか・すいたハウス
支援基金

おおさか・すいたハウス移転支援寄附について

1. 移転支援寄附について

寄附目標額:2億円

平成31年度を目処とした国立循環器病研究センターの北大阪健康医療都市(健都)への移転に伴い、同センターに入院する病気で闘う子供たちとその家族を支えてきた滞在施設「おおさか・すいたハウス」の移転を支援するため、各方面からの寄附を募集しています。

2. おおさか・すいたハウスの概要

国立循環器病研究センターに入院する小児患者のご家族が、1人1日1,000円という少ない負担で宿泊できる滞在施設として、国立循環器病研究センターの向かい側、窓から病院が見える場所、吹田市青山台に平成17年(2005年)10月オープンしました。

運営は、多くの地域ボランティアや寄附により賄われており、18家族が滞在でき、子どもや家族が安心して“我が家のようにくつろげる第2の家”を目指した運営を行っています。これまでの約10年間で延べ5,000以上のご家族が利用し、宿泊は43,000泊に及んでいます。

3. 現在の寄附の状況

①寄附総額(H29.1.31現在)

- ・件数: **721件**
- ・金額: **148,122,931円**

②PR活動

(1)「おおさか・すいたハウス
移転支援募金委員会」の設立



(2)その他 イベントブース展示等

(ロハスフェスタ万博)

(第33回みんなの健康展)

